

日 時 11月7日(土) 開場17:00～ 開演17:30～

会場 隠岐島文化会館

出 演

中村民謡研究会(隠岐の島町)



私たち中村民謡研究会は、今年(令和2年現在)で結成76周年を迎えました。

現在の会員数は14名で、最年長89才、最年少10才です。今でこそこの人数ですが、一時は3名まで減少し、存続の危機がありましたが、ここまで守り続けて参りました。

定例の稽古は月に3回ほどで、イベントへの出演を控えている時は更に回数を増やしています。

現在のレパートリーは、10曲程度です。

今後とも隠岐民謡を伝承し、そして次の世代への継承を目指して頑張って参ります。

石見神代神楽 上府社中(浜田市)



私たちの郷は、古来より交通の要所、政治の中心として栄え、上府(かみこう)の地名と同じで、上府郷社八幡宮として近郊近在の総元宮(九社)であり石見神楽八調子発祥の地でも有名です。古人から、永い伝統を引き継ぎ、特に大蛇は大阪万博(昭45年)では、地元3社中と共に国を代表して出演し絶賛を戴き、又後継者育成と郷土愛確立に子供神楽団、和太鼓、石州浜田太鼓団を結成して郷土芸能振興に頑張っています。今までに、DVD製作、諸外国での公演活動、ボランティア等を通じて、日本文化芸能の伝承、保存に尽力、独自台本(大江山、五郎王子)有り。お客様からの依頼も多い、塵輪、神祇太鼓、天神、恵比須、大江山、大蛇を得意演目としています。

奄美・沖縄の島唄 南西合奏団

群星(むるぶし)(鹿児島県・沖縄県)



沖縄・奄美の伝統芸能を中心に活躍している世代を中心に平成25年結成。最近の傾向はメディア向けの音楽が多くなり、伝統的な音楽に接する機会が減りつつあり、先ず本土の民謡や奄美の島唄に顕著である。その中で祖先から伝承されてきた三線、胡弓、太鼓、三板、横笛も含めた創造団体として、広く国内外に実演芸術を紹介していくのを目的で設立した創造団体である。平成25年2月外務省派遣カンボジア・日本絆フェスティバル、鹿児島音楽祭に参加、沖縄宮廷音楽、奄美ブルース、沖縄の島唄絶唱、南風(はえ)達の共演。

前売券 一般 1,000円 高校生以下 500円 **※限定300名**

前 売 券 隠岐島文化会館、隠岐の島町図書館、はっとり、よいし商店、ひまり、長野商店、

販 売 先 山下商店、水原商店、ストアーかみや、五箇生涯学習センター、都万公民館、布施公民館